

学習指導案

指導者 杉本 梨絵

- 1 日時 令和元年9月25日(水)
- 2 学年 1学年1組 男子15名 女子13名 (計28名)
- 3 単元名 海田町マップ ～私たちにできること～
- 4 単元について

(1) 生徒観

本学級の生徒は、小学校で瀬野川や、千葉家、織田幹雄氏のことなど、海田町について学んできており、郷土について愛着を感じている。1学期には、海田町について知っていることや調べたいことを出し合い、「観光スポット」「織田幹雄」「勝丸恭子」「海田総合公園」「海田市駅」「海田町の花ひまわり」「グルメ」「お菓子」「自衛隊」「かいた七夕さん」「行事」「自然」など、テーマを決めて海田町について調べ、新聞にまとめた。

しかし、既習のことを調べ直す班が多く見られ、疑問に感じたことを調べ直す姿勢があまり見られなかった。海田町についての知識は多くあるものの、それらを生かして自分たちが新たに行動し、積極的に関わっていく姿勢には至っていない。

(2) 単元観

本単元は、海田町の歴史や現在を調べた学習をもとに、さらに自分たちで課題を発見し、自分たちが海田町のためにできることを考え、実行することを目標としている。本校の総合的な学習の時間の目標である「自分と地域とのかかわりについて、探求的な活動を通して、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。」の土台となる単元である。

本単元において、郷土である海田町のことを調べることで、その中から課題を見つけ、自分たちで行動したり提案したりすることは、地域と自分との関わりに触れ、主体的に地域に貢献していくきっかけとなる。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、海田町について各自が設定した課題を調査し、その結果をわかりやすくまとめて発信することを目標に学習することで目的に応じた手段を選択し、情報を収集する情報活用能力をつけたい。単元の前半では、新聞作成に当たって、情報収集の方法を、インターネット、書籍、アンケート等、様々な方法を使って調べるようにさせる。後半では、海田町について収集した情報から、地域のために自分たちができることを考えさせる。

この内容について、企画書を作成し、主体的に考え、地域に貢献する姿勢を身に付けさせたい。また、企画した内容を実際に海田町や地域の方に提案する場を設ける。取り組んでみて起こる様々な困難や失敗に向き合ったり、改善策を話し合わせたりする中で、よりよく問題を解決するために必要な情報を収集し、有効な方法を選択し、発信していく力を伸ばしたい。

5 単元の目標

(1) 単元の目標

郷土である海田町について、自ら決めた課題を調査し、その結果をわかりやすくまとめて発信することを通して、情報収集の手段・方法を習得させ、郷土への愛着を深め、郷土に貢献しようとする態度を育てる。

○海田町を知る活動を通して、自らが課題を発見したり、選択したり、構成したりすることができる。また、見通しを持って解決の計画を立てることができる。

【知識及び技能】

○海田町調べの活動を通して、目的にあった情報を収集、選択、処理することができる。また、調べたことや、それらについての自分の考えを整理し、分かりやすく表現することができる。

【思考力・判断力・表現力等】

○意欲的に問題解決に向けて取り組み、いろいろな体験や活動を通して人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

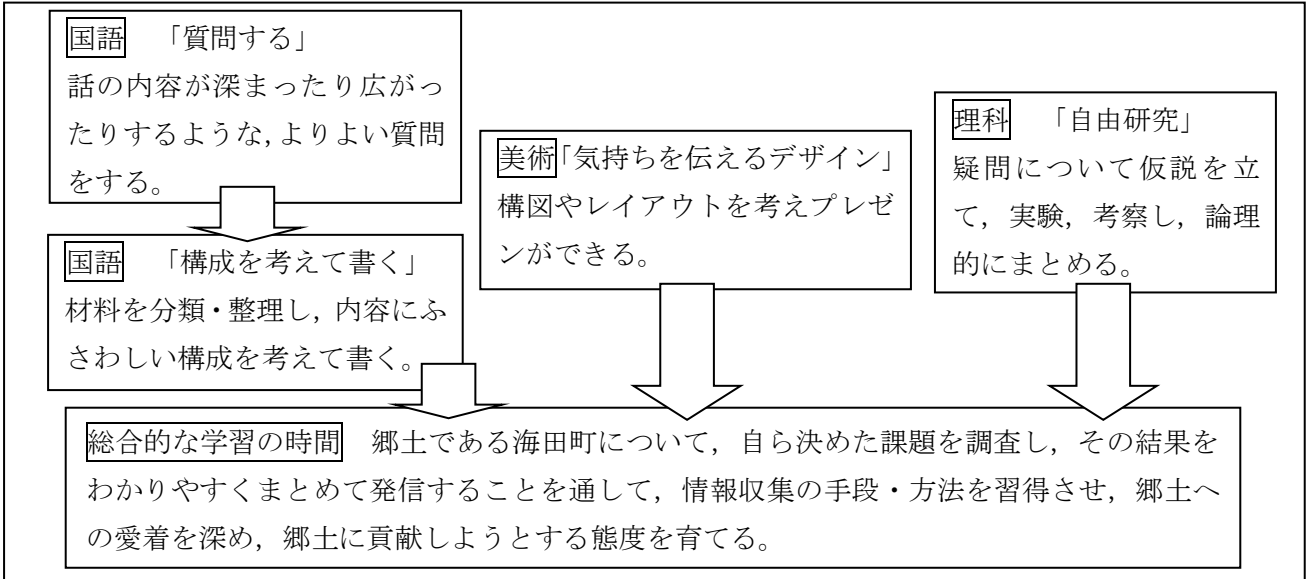
6 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ・自らが課題を発見したり、選択したり、構成したりすることができる。 ・見通しを持って解決の計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的にあった情報を収集、選択、処理することができる。 ・調べたことや、それらについての自分の考えを整理し、分かりやすく表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に問題解決に向けて取り組むことができる。 ・いろいろな体験や活動を通して人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重することができる。

7 付けたい資質・能力

課題発見・解決力	自らが課題を発見したり、選択したり、構成したりすることで課題解決することができる。
主体性	自ら発見した課題の解決に向けて、ふるさとである海田町に貢献しようと意欲的に取り組んでいる。
コミュニケーション能力	仲間と協力して課題に取り組み、自己を見つめ、他者を尊重している。
メタ認知	課題解決のための体験や活動を通して、将来の自分や自己の生き方について考えようとしている。

8 単元関係図



9 指導と評価の計画（全36時間）

第1次 海田町新聞づくり・発表（19時間）

- ・海田町について知っていることを確認する。
- ・班ごとに調べたい課題を出し合い, 新聞のテーマを決める。
- ・インターネット, 書籍, アンケート等の方法で情報を収集する。
- ・新聞記事を書く。
- ・発表原稿をつくる。
- ・学級で発表会を行い, 各グループの工夫を学ぶ。

第2次 海田町のために私たちにできること（17時間）

時	学習内容	評価			
		知	思	学	評価規準（評価方法）
1 2 3	課題の設定 ○海田町について調べたことを振り返り, さらに疑問点や課題点を話し合い, 自分たちが取り組んでいくテーマをしぼる。	○			・課題を発見したり, 選択したり, 構成したりしている。 （発言・ワークシート）
	○テーマごとにグループに分かれ, 取り組む内容と計画をたてる。 〈本時〉	○			・見通しをもって解決の計画を立てている。 （発言・ワークシート）
4 5 6 7	情報の収集 ○実際に調査に出向いたり, インタビュー等を行ったりする。		○		・目的に合った情報を収集, 選択, 処理している。 （発言・行動観察）

		整理・分析 ○調査結果をもちより，企画書にまとめる。		○	・意欲的に問題解決に向けて取り組んでいる。 (発言・ワークシート)
8 9 10		○企画書の内容を検討する。		○	・調べたことや，それらについての自分の考えを整理し，わかりやすく表現している。 (発言・行動観察・ワークシート)
11		○進捗状況を発表し，内容や方法について検討する		○	・仲間と協力して課題に取り組んでいる。 (発言・行動観察・ワークシート)
		まとめ・創造・表現 ○中間発表をもとに，実行の場に向けた準備を行う。		○	・意欲的に問題解決に向けて取り組んでいる。 (発言・行動観察・成果物)
12 13 14 15		○企画書の内容を実行する。		○	・ふるさと海田町に貢献しようとしている。 (発言・行動観察)
16		○海田町のために取り組んできたことを発表する。		○	・いろいろな体験や活動を通して人とふれあい，自己を見つめ，他者を尊重している。 (発言・行動観察・成果物)
		振り返り ○感想を交流し，活動の成果について振り返る。 ○今後自分にできることを検討する。		○	・自己の生き方について考えている。 (発言・ワークシート)
17					

10 本時の学習

(1) 本時の目標

海田町をより良くするために，自分たちにできることを見つけて地域に提案する企画書をつくる。

(2) 本時の評価規準

◎課題発見・解決力

見通しをもって解決の計画を立てている。【知識及び技能】

(3) 準備物

ワークシート

(4) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (・) 「◆努力を要する状況」と判断した 生徒への指導の手立て	評価規準 (○) (評価方法)
導入	1 前時までの学習を振り返り、本時の目標を確認する。		
	海田町をより良くするために、自分たちにできることを地域の方に提案する企画書をつくろう		
展開	2 「防災」・「観光」・「PR」等のテーマで、自分たちにできることを考え、企画書を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状分析」「目標」「誰に」「何のために」「どんな方法で」などを考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈過去のテーマ例を紹介する〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりの花を紹介する4コマ漫画 ・海田町カレンダー ・PR動画の作成 </div>	
	3 企画書を他グループで紹介し、検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・検討するときの視点を示す。 <ul style="list-style-type: none"> ◦自分たちの力で実現可能か ◦目標に対して手段は有効か ◦もっと良いアイデアはないか <p>◆アドバイスだけでなく、ほかのグループの企画で良い点や真似したい点を書かせる。</p>	
	4 検討した内容をもとに、企画書を練り直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・内容等が具体的に決まったら、今後のスケジュールを立てる。 	

まとめ	5 本時を振り返り、 これからの学習の見 通しをもつ。	・今後、グループで取り組んでいく計画を 確認する。	○企画の「対象」・「目 的」・「手段」を考え、 見通しをもって解 決の計画を立てて いる。【ワークシー ト】
	<p>★生徒のまとめ例</p> <p>・海田町を町外の人にPRするために、名所せんべいの図案を考え、シルバー人材センターで提案する。町内の人にアンケートやインタビューをとって、名所せんべいに取り入れたい地域の自然や行事などを選ぶ。選んだものをデザイン化して、シルバー人材センターの方にプレゼンする。説得力のあるプレゼンにできるように、どんな工夫ができるか考えていきたい。</p>		

(5) 板書計画

本時の目標：海田町をより良くするために、自分たちにできることを企画書にまとめよう

現状分析

目標

誰に

何のために

どんな方法で

スケジュール

企画書 例

アンケートなどで現状をもっと分析しよう！

〇〇の手段はわかりやすいので多くの人にPRできる！